

今回の留学によって得られたと感じる「学び」や「成長」、そして、「成果」について書いてください。

今回の留学によって得られた学びと成長は「現地の生活」と「語学力」です。

日本でテキストやネットを通じて得る現地の生活の様子は間違っていないと思いますが、留学に行くことによって自らがその生活を経験できるという事はとても貴重な点だと考えます。

生活を送る中で日本との比較を細かな所まで行え、また今の中国の春節や国慶節等の特別な時期以外の日常生活を間近で見ることが出来、数多くの事を学びました。

語学力については、日本に居た時とは比べ物にならないほど毎日毎時間大量の中国語を速いスピードで聞き、話さなければいけない状況下になるので毎日一生懸命リスニングとスピーキングを練習しました。

その結果、段々と言葉が聞き取れるようになり自分の頭の中で時間をかけて整理せずとも言いたいポイントを思い浮かべるだけである程度の会話ができるようになりました。留学前は中国語を話す時は一度日本語から考え、中国語に変換し話すという一連でしたが、留学中に毎日中国語を話し中国語でなるべく考えるようにした結果、中国語で考え話すという事が出来るようになりました。

また、留学前から常日頃感じていたことですが、私が目指しているレベルの中国語と今の私のスキルでは圧倒的に語彙力が足りていないと感じていました。その為、浙江万里学院ではどんなに些細な物事でも知らない物事はその場で調べ、日々語彙力を増やしコミュニケーションに幅を持たせるよう努めていました。その結果、一般的な単語から現地で若者しか使っていないような言葉まで語彙を増やすことが出来ました。

また、毎日必ず中国語を使って交流するという目標を掲げていたおかげで以前より格段に口が中国語に慣れ、ある程度スムーズに会話することが出来るようになりました。

また、初めて長期間海外の方とコミュニケーションを取り共に行動する中で、日本では当たり前にしてきた言動に気付くことができ、また自分の常識が他の国の常識ではないという当たり前の事を強く意識することが出来るようになりました。自分の価値観だけで動かずに相手の考えや価値観を聞き考え行動することが出来るようになった事でコミュニケーションもスムーズに行うことが出来るようになりました。

他にも、大学寮で過ごすことで共同生活において注意する事が身に付き、日々の生活を計画する力が身に付きました。

今後の目標について書いてください。

今後、私は三年次の間に内々定を取りたいと考えており、その為に留学を終えた今はHSK及び中国語検定の資格取得に励んでいます。浙江万里学院の授業でHSK4級のテストには合格したので帰国後HSK5級を受験しました。中国語検定については留学前に4級を取得できたので、今後は3級、最終的には1級を目指しています。

また、それ以外にも入社希望の企業に入るために中国語教室に通いながら自身で中日翻訳の練習をしようと考えています。

履修・教務、学修面について

(例) 以下のことを参考に記入してください。

- どのように学修に取り組みんだか。どのような学修が効果的だったか。
- 特に有益だった受講科目について。

まず、履修に関してですが留学前に既に履修登録をしていました。具体的な時間割は出発前には知らされておらず、また派遣先到着後1週間経っても知らされませんでした。私が到着したのが9月5日でしたが、履修登録や学内のルール、時間割、クラス分け等については9月14日に行われたオリエンテーションで伝えられました。私は中国語に関する3つの授業を履修していましたが、どれもが最初は難しく何をするにも苦戦しました。

授業開始後2週間は先生の話していることの大半が聞き取ることが出来ませんでした。先生によってはホワイトボードに要点を書いてくださる先生も居ますが、全く書かずにテキストと写真を用いて説明する先生も居ます。初めのうちは聞き取りが出来ないので授業後の復習と課題を終わらせるのにも3.4時間かかりました。その分予習には更に力を入れて、予め分からない単語の発音や意味を細かく調べていました。調べても分からない際は先生にWechatで質問していました。

課題は文を自作したり、インタビューして情報を集めるものなど様々だったので派遣先大学の日本語学科で友人を作って文法や単語の間違いがいいかチェックしてもらっていました。

特に有益な科目だと感じたのはExtensive Readingです。先生の話すスピードがとても速く初めのうちは苦戦しましたが、その速さに慣れると日常会話も聞き取れる事が増え、またこの授業ではテキストの内容から更に二歩三歩踏み込んで中国人の生活習慣や考え方、文化にも紐づけて解説して下さるのでリスニング力や語彙だけでなく様々な知識を身に付けることが出来ました。

生活面について

(例) 以下のことを参考に記入してください。

- 授業以外の時間は、どのように過ごしましたか。(休日・余暇の過ごし方)

寮と大学間は徒歩約10分～15分ほどの距離にありました。また、寮内には共用コインランドリー及びミネラルウォーターの販売所、共用キッチン、フロントがあります。部屋は2人部屋か1人部屋かを選べます。1人部屋は2人部屋の倍の料金を払う必要があります。また、何階に住むかによっても値段が変わります。寮には交換留学生の他にも中国人の学生も住んでおり、また様々な国籍の方が居り色々な方と交流が出来ました。

寮の公共Wi-Fiはかなり速度が遅く、まともに使えなかったためデータ通信の契約していたプランを用いて過ごしていました。1週間に一回の頻度で部屋の清掃及び機器の点検がされ、自分でもこまめに掃除していたので常に綺麗な状態で過ごすことが出来ました。

寮から授業の教室に行く途中で学生用の大規模な図書館があり、授業後の課題やテスト勉強やそこで行っていました。我的万里という浙江万里学院専用のアプリから座席と日時の予約が必要ではありますが広く静かで快適な環境で自習に励むことが出来ます。

また、月数回様々なアクティビティが開催されるので興味を持った活動には同じクラスや中国人の友人と一緒に参加して楽しみました。他にも、国慶節等の長期休暇にも友人たちと旅行に行き様々な文化財や景色、食事を楽しみました。

費用概算

この留学にかかった留学費用総額		約	70万	円	
内訳	渡航・帰国費用（航空券）	約	18万	円	
	海外旅行傷害保険	約	7万	円	
	査証（ビザ）取得費用	約	7000	円	
	日用品	約	1万	円	2000円×5ヶ月
	食費	約	15万	円	3万円×5ヶ月
	寮費	約	13万	円	2万6000円×5ヶ月
	水・光熱費	約		円	ヶ月
	現地携帯電話	約		円	ヶ月
	インターネット	約	3万	円	6000円×5ヶ月
	利用方法	学内で利用・寮で利用・ <u>自分の携帯で利用</u> など			
		(複数回答可。○をつけること。)			
	その他（用途：お土産）	約	3万	円/月×	1ヶ月
その他（用途：旅行）	約	8.8万	円/月×	1ヶ月	
(医療費、教科書代などあれば) 教科書代5000円					

滞在中の費用について

食事については中国なので中国料理は安く済みますが日本のように海外の料理を安く食べられるチェーン店等があまりないので日本と比べてかなり高いです。普段の食事や生活必需品は日本よりも物価が安いので安価に手に入りますが旅行の際にかかる費用や嗜好品などは日本と同程度の値段です。

また、寮のインターネットがかなり弱く、速度が遅くてまともに作業が出来なかったため学内の中国移动で元々契約していたプランを変更し日常生活で使っていました。高い月額料金なので個人でルーターを契約しようか迷いましたが、滞在期間と帰国時の処理の手間を考え契約しませんでした。

また、VPNを使ってメールの確認やOIUの課題等をしていましたがPCがVPNに繋がらなかったため基本スマートフォンでしていました。かかる費用は高くなりますが、出発前にもう一つVPNを契約しておくと思いしました。

出発前の準備と現地到着後の流れ（どの様に準備をしましたか。）

留学に行く希望は大学入学時からあったので一年次と二年次の前期の間に中国語インテンシブコースに入り中国語検定とHSKの勉強をして留学に備えていました。
また、OIUに中国人の友達が居るので留学前に中国の生活の事やルール等を聞いていました。
ビザは7月29日に受け取りました。かなり混み合うという情報を事前に知っていたのでビザ申請の際は営業開始の9時より15分程前に到着し申請を行いました。
航空券についてはビザを受け取った後にINTへ連絡するという順序だったため、出発一か月前に航空券の手続きを依頼するという形になってしまいました。

留学中、大変だと感じたことは何ですか。その時にどう対応しましたか。（どう対応すればいいと思いますか）

特に大変だと感じたことは日常生活を送る上で中国語が必須だという点でした。当たり前前のことはありますが、授業以外の中国語を話す場では英語での解説もありませんし、文字をノートやホワイトボードに書いてくださる事もないので耳と知識で何とか話さなければいけません。友人同士の会話は説明に少し時間がかかっても問題ないですが、外売や淘宝、また手続き等では簡潔に伝わりやすい表現をしなければいけません。
ですが、そのような表現の仕方は教科書にもネットにも殆ど載っていないため情報を集めるのにもそれらを学ぶのも大変でした。そのため、日本語学科の友人に質問して教えて頂いたり、中国人同士の会話をしっかり聞いて場面にあった言葉の使い方を覚えました。

自由記入欄（次年度以降の後輩へ向けてのメッセージなど）

授業では中国語を英語で解説したり、テストでは中国語の意味を英語で説明する必要があるため中国語の勉強だけではなく英語の勉強もすることをおすすめします。
また、留学先によっては日本人が多く留学中の大学に行くことになるかもしれません。ですが私が勧めたいことはなるべく中国人学生と関わることです。留学先に日本語学科がある場合は、留学する私たちにとってだけでなく向こうの日本語学科の学生にとってもネイティブと直接会話が出来るととても良い機会なので、初めは難しいと感じることが多くあると思いますが中国人学生と友人になることをお勧めします。